

公園緑地工事「数量集計表」(平成24年度 施工パッケージ型積算方式版)

# 数量集計表様式説明書 【施工パッケージ型積算方式版】

平成24年10月版

## はじめに

施工パッケージ型積算方式は、積算要素（レベル6）毎に施工パッケージ部分と積上げ積算方式の歩掛の部分とがあるため、土木工事数量集計表様式の構成と同様に施工パッケージ型積算方式対応の数量集計表様式と従前の積上げ積算方式対応した数量集計表様式とを組み合わせ使用できる形式に整理した。

平成24年10月1日から導入された施工パッケージは以下に示す63であるが、公園緑地工事では50の施工パッケージが対象とな

NO	施工パッケージ名称	NO	施工パッケージ名称	NO	施工パッケージ名称	NO	施工パッケージ名称
1	掘削	17	法面整形	33	ふとんかご	49	基層(歩道部)
2	土砂等運搬	18	市松芝	34	函渠	50	中間層(歩道部)
3	整地	19	人工張芝	35	巨石採取	51	表層(歩道部)
4	路体(築堤)盛土	20	吹付法面取壊し	36	消波根固めブロック運搬	52	アースカーブ
5	路床盛土	21	間知ブロック張	37	消波根固めブロック仮置	53	排水性舗装・表層(車道・路肩部)
6	押土(ルーズ)	22	天端コンクリート	38	根固めブロック撤去	54	基礎ブロック(立入防止柵)
7	積込(ルーズ)	23	小型擁壁(人力打設)	39	かごマット設置	55	金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)
8	積込(ルーズ)(電線共同溝)	24	重力式擁壁	40	袋詰玉石	56	特殊ブロック舗装
9	土材料	25	プレキャスト擁壁設置	41	不陸整正	57	舗装版破碎
10	残土等処分	26	サンドマット	42	下層路盤(車道・路肩部)	58	舗装版切断
11	掘削(砂防)	27	安定シート・ネット	43	下層路盤(歩道部)	59	歩車道ブロック撤去
12	土砂等運搬(砂防)	28	粉体噴射攪拌	44	上層路盤(車道・路肩部)	60	地先境界ブロック撤去
13	押土(ルーズ)(砂防)	29	石積取壊し(人力)	45	上層路盤(歩道部)	61	踏掛版
14	積込(ルーズ)(砂防)	30	コンクリートはつり	46	基層(車道・路肩部)	62	殻運搬
15	掘削(光ケーブル配管)	31	吸出し防止材設置	47	中間層(車道・路肩部)	63	現場発生品・支給品運搬
16	安定処理	32	じゃかご	48	表層(車道・路肩部)		

 は、公園緑地工事対象

【使用方法について】 次頁のツリー図を参照

積算方式は以下の3タイプに分かれる。

積算要素（レベル6）が施工パッケージ型積算方式のみで構成される細別（レベル4）を持つもの **赤字**

積算要素（レベル6）の構成が施工パッケージ方式と積上げ積算方式が混在している細別（レベル4）を持つもの **青字**

積算要素（レベル6）が従前の積上げ積算方式による歩掛をもつ細別（レベル4）を持つもの **黒字**

については、土木工事数量集計表様式(案)（平成24年10月版）のうち公園緑地工事に必要となる50の施工パッケージ名称を準用し、適用欄に施工パッケージ型積算基準に該当する工事区分（レベル1）、工種（レベル2）、種別（レベル3）を付記した公園緑地工事数量集計表様式（施工パッケージ型積算方式対応）を使用する。

については、積算要素（レベル6）の構成により積算方式を判断して園緑地工事数量集計表様式（積み上げ型積算方式対応）を使用するか、または公園緑地工事数量集計表様式（施工パッケージ型積算方式対応）の備考欄より右側に設けられている別な数量表を用いて必要な数量を別途計上する。

については、平成24年4月版の公園緑地工事数量集計表様式により数量の集計を行う。

公園緑地工事工種体系ツリー図(施工パッケージ積算方式対応)の一部抜粋

レベル2	レベル3	レベル4
グラウンド・コート舗装工	* 舗装準備工	* 不陸修正
	グラウンド・コート用舗装工	* 下層路盤(車道・路肩部)
		* 下層路盤(歩道部)
		* 上層路盤(車道・路肩部)
		* 上層路盤(歩道部)
		中層
		* 基層(車道・路肩部)
		* 基層(歩道部)
		クレ舗装
		アンソーカー舗装
		天然芝舗装
		人工芝舗装
		全天候型舗装(樹脂系)
		全天候型舗装(アスファルト系)
		グラウンド・コート砂舗装
		グラウンド・コートダスト舗装
	グラウンド・コート縁石工	コンクリート縁石
		舗装止め
		見切材(仕切材)
		内圍縁石

注) 細別(レベル4)のうち

赤文字は、施工パッケージ型積算方式対応の数量集計表を用いる

青文字のものは細別モジュール内訳書により判断し、いずれかの数量集計表を用いる

黒文字は積上げ型積算方式対応の数量集計表を用いる

## 1. 基本事項

- (1) 設計数量の集計を行う際には、本数量集計表の様式にならって数量集計表を作成してください。
- (2) 体系情報は、工事工種体系に準じてレベル1(工事区分)からレベル5(規格)の情報を記入ください。
- (3) 本数量集計表は、数量集計表の統一様式であって数量計算書を規定するものではありません。

注)本数量集計表は施工パッケージ型積算方式版です。

施工パッケージ型積算方式はレベル6(積算要素)毎に施工パッケージの部分と積上歩掛の部分があります。

積上方式の数量集計表を基本に、公表している平成24年度(10月版)工事工種体系ツリーと、

平成23年度(4月版)、工事工種体系ツリーの対照表を参照のうえ、施工パッケージに移行したレベル6は

本数量集計表にて作成していただき、組み合わせてご利用ください。

## 2. 数量集計表の構成内容

- (1) 数量集計表は、施工パッケージ毎に1つのシートで構成されています。
- (2) 「一覧」シートには、施工パッケージを施工パッケージ型積算基準の編章項順に示しています。
- (3) 本数量集計表は、数量集計表の統一様式であって数量計算書を規定するものではありません。

施工パッケージ名称	参考：施工パッケージ型積算基準		通 用							
	編 章 項	施工パッケージ型積算基準	工事区分	工 種	別			工事区分	工 種	
01 掘削	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	表土保全工	掘削工		基礎整備	公園土工	
02 土砂等運搬	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	掘削工	盛土工	路床盛土工			
03 整地	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	掘削工	盛土工	路床盛土工	残土処理工		
04 路体(築堤)盛土	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	盛土工					
05 路床盛土	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	路床盛土工					
06 掘削(ルース)	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	掘削工	盛土工	路床盛土工			
07 掘削(ルース)	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	掘削工	盛土工	路床盛土工			
08 土材料	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	盛土工	路床盛土工				
09 残土等処分	1	土工(施工パッケージ)	基礎整備	敷地造成工	残土処理工					
10 安定処理	1	安定処理工	基礎整備	敷地造成工	路床安定処理工			基礎整備	公園土工	
11 法面整形	2	法面整形工	基礎整備	敷地造成工	法面整形工					
12 吹付法面取壊し	2	吹付法面とりこわし工								
13 人工張芝	2	人工張芝工	基礎整備	法面工	植生工					
14 間切ブロック張	2	コンクリートブロック積(張)工	基礎整備	擁壁工	コケートブロック工					
15 天端コンクリート	2	コンクリートブロック積(張)工	基礎整備	擁壁工	コケートブロック工					
16 小型擁壁(A)	2	場所打擁壁工	基礎整備	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)					
17 重力式擁壁	2	場所打擁壁工	基礎整備	擁壁工	場所打擁壁工(構造物単位)					
18 プレキャスト擁壁設置	2	プレキャスト擁壁工	基礎整備	プレキャスト擁壁工	プレキャスト擁壁工					
19 サンドマット	2	軟弱地盤処理工(サンドマット工)	基礎整備	敷地造成工	サンドマット工					
20 安定シート・ネット	2	軟弱地盤処理工(サンドマット工)	基礎整備	敷地造成工						
21 石積取壊し(人力)	2	構造物とりこわし工								
22 コンクリートはつり	2	構造物とりこわし工								
23 吸出し防止材設置	2	吸出防止材設置工	基礎整備	擁壁工	場所打擁壁工					
24 じゃかご	2	かご工	基礎整備	法面工	かご工					
25 ふとんかご	2	かご工	基礎整備	法面工	かご工					
26 函渠	2	函渠工	施設整備	公園カルバート工	場所打函渠工					
27 搬運機	2	搬運機	施設整備	園路広場整備工	舗装撤去工					
28 かごマット設置	4	かごマット工	自然育成	自然育成型護岸工	かご工					
29 袋詰玉石	4	袋詰玉石工	自然育成	自然育成型護岸工	沈床工					
30 不陸修正	6	路盤工	施設整備	園路広場整備工	舗装準備工			施設整備	グラウンド・コート舗装工	
31 下層路盤(車道・路肩部)	6	路盤工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	透水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工
32 下層路盤(歩道部)	6	路盤工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	透水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工
33 上層路盤(車道・路肩部)	6	路盤工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	透水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工
34 上層路盤(歩道部)	6	路盤工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	透水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工
35 基層(車道・路肩部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
36 中間層(車道・路肩部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
37 表層(車道・路肩部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
38 基層(歩道部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
39 中間層(歩道部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
40 表層(歩道部)	6	アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工	
41 排水性舗装(表層(車道・路肩部))	6	排水性アスファルト舗装工	施設整備	園路広場整備工	排水性舗装工			舗装復旧工	施設整備	グラウンド・コート舗装工
42 基礎ブロック(立入り防止柵)	7	立入り防止柵工	施設整備	管理施設整備工	柵工					
43 金網(フェンス)・支柱(立入り防止柵)	7	立入り防止柵工	施設整備	管理施設整備工	柵工					
44 歩車境界ブロック撤去	7	路側取外し工								
45 地先境界ブロック撤去	7	路側取外し工								
46 舗装破砕	8	舗装破砕工	施設整備	園路広場整備工	園路広場整備工	舗装撤去工				
48 舗装版切断	8	舗装版切断工	施設整備	園路広場整備工	園路広場整備工	舗装撤去工				
49 現場発生品・支給品運搬		現場発生品及び支給品運搬								
50 目地板		目地板は施工パッケージではありませんが、間切ブロック張などで必要な場合はご利用ください。								

施工パッケージの一覧シート

施工パッケージ毎の数量集計表のシート

### 3. 数量集計表について

#### 3.1 工事工種体系との対応

数量集計表における階層は、工事工種体系の階層構成に準拠していますが、その工事工種体系では、事業区分を除いて、工事の内容を下記6つの階層(レベル)で表示することとしています。

・レベル1(工事区分) ・レベル2(工種) ・レベル3(種別) ・レベル4(細別) ・レベル5(規格) ・レベル6(積算要素)

このうち、レベル4(細別)は、工事を構成する基本的な単位目的物もしくは単位仮設物であって、単位とともに契約数量を示すレベルとして位置づけられています。

また、レベル5(規格)は、レベル4を構成する材料等の材質、規格ならびに契約上明示する条件等を示すレベルとして位置づけられ、契約図書である数量総括表では、原則としてレベル4と同行に記述されます。

さらに、レベル6(積算要素)は、レベル4(+レベル5)の価格算定上の構成要素であって、費用構成としての積算項目と積算上の最小構成単位としての項目から構成されています。「施工パッケージ」はこのレベル6(積算要素)に該当します。

数量集計表では、レベル1～レベル5について任意に入力できるようにしています。工事工種体系ツリーを確認した上で「施工パッケージ」が該当するレベル1～レベル5の情報を入力してください。

また、数量集計表では、レベル6に対応して数量算出要領に記載されている内容を基に、積算時に必要となる数量算出項目を「施工パッケージ」の積算条件区分毎に入力できるようにしています。該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力してください。

### 3.2 入力規則

数量集計表では、水色ハッチング部に数量等を入力してください。

体系情報は、工事工種体系ツリーに基づいて記入してください。

数量は、該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力してください。

複数の地区や工区に分かれている場合が、各々の数量を分けて入力してください。地区や工区が多数ある場合は列を追加して対応ください。

地区や工区毎に数量を入力

レベル1(工事区分)	レベル2(工種)	レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	レベル6(積算要素)	積算用単位	数量計算用単位	数量区分					合計	A地区	B地区				備考
					-	-	-						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					整地	m3	m3	作業区分	敷均し作業内容	-									
								残土受け入れ地での処理	-	-	0.0								
								敷均し(ルーズ)	標準	-	0.0								
							標準以外		-	0.0									
							狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)		-	0.0									
							トラフィックビリティが確保できない場合		-	0.0									

工事工種体系ツリーに基づいて記入

該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力



### 3.4 別途計上数量

「施工パッケージ」の適用条件から外れて、別途数量を計上するものについては、数量集計表の備考欄より右側に別な数量表を設けています。別途計上する数量については、単位当たりの数量に置き換える必要がある場合もあるため積算条件区分毎に数量を入力してください。

数量区分				合計	A地区	B地区				備考
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類							
21-8-25(20) (普通)	無し	無し	一般養生 特殊養生(練炭)	0.0						
			特殊養生(ジェットヒータ)	0.0						
		有り	一般養生 特殊養生(練炭)	0.0						
			特殊養生(ジェットヒータ)	0.0						
	有り	無し	一般養生 特殊養生(練炭)	0.0						
			特殊養生(ジェットヒータ)	0.0						
		有り	一般養生 特殊養生(練炭)	0.0						
			特殊養生(ジェットヒータ)	0.0						

項目	規格	単位	A地区		B地区	
基礎砕石(基礎材厚さ20cm超え)	[砕石種類、敷厚]	m2				
			全体	1m3当り	全体	1m3当り
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!

別途計上が必要な数量の数量表